



個人のレベルに合わせた  
丁寧な指導が合格への力に  
なります。

## 集中講習会の特徴

- 個人のレベルに合わせて課題を選びます。
- 豊富なテキストを使用して理解を深めます。
- 集中的に学ぶことで学習効果が得られます。
- 色彩や立体の特別講座も開催されています。
- 講師が一人一人に丁寧に理解できるまで指導します。
- 描写では自然物の形をとらえる練習も行っています。
- 基礎コースを設置。初めて実技をする人も安心です。

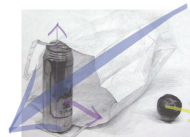
## 豊富な実技テキスト

### 描写 ●紙袋、ビール缶、桃を描く 一人工物と自然物の組み合わせ

今回は、自然物(ビール缶、桃)と人工物(紙袋)を組み合わせて描く練習を行います。紙袋は、自然物の形と色を参考に描くことで、自然物の質感や色合いを表現することができます。また、紙袋の形や質感を表現することで、人工物の存在感を強調することができます。



※写真撮影、左から右へ

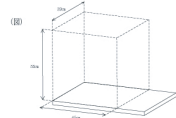


観察者の方向を考慮する  
描き始める前に、観察者の方向を考慮する必要があります。観察者の方向によって、物体の形や質感の表現方法が異なります。また、観察者の方向によって、物体の配置や構図も変わります。したがって、描き始める前に、観察者の方向を考慮し、適切な配置や構図を決める必要があります。

### 立体 ●テーマに基づいて複合素材で立体構成 一素材の使い方を生かす

下記の与えられた材料を使って「立体」をテーマに立体を構成してください。ただし、発泡スチロール(立方体)3個はすべて30cm以上の高さで設置すること。

【作品の材料】 竹藪の糸(1cm幅5本、60cm幅5本)、発泡スチロール(立方体)3個、薄手のクマ(紙)1枚、厚手のクマ(紙)1枚



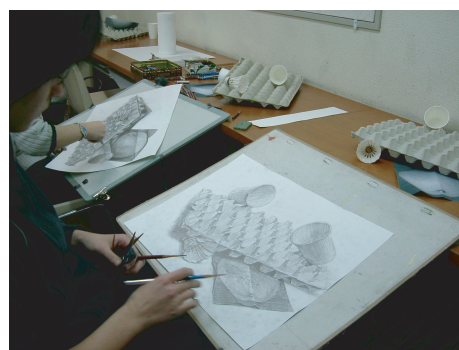
【注意】

1. 作品は、作品を設置する台座として、壁の隅に設置してください。  
2. 作品は、アイスクリームスティックを使用して固定してください。  
3. 作品は、壁の隅に設置してください。また、作品の配置や構図も変わります。したがって、描き始める前に、観察者の方向を考慮し、適切な配置や構図を決める必要があります。

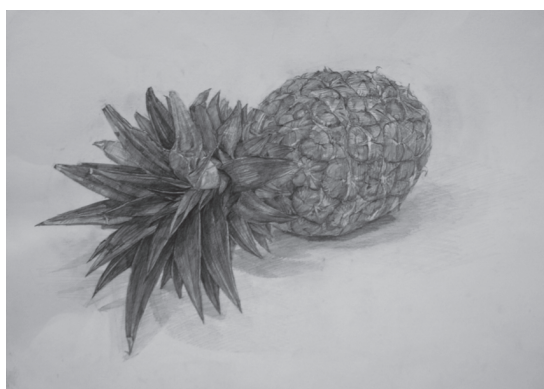


実技指導

一人一人の生徒に個別に対応していきます。  
わからないことがあればどんどん質問してください。  
初心者の方には基礎実技プログラムが用意されていますので  
安心です。



集中して行う実技。  
ハイレベルな実技力が身につきます。



デッサン



色彩



立体構成